

4. 寄稿：セカンドキャリア 20 年の振り返り

(一般社団法人海鈴大磯 代表理事 富山 昇)

2002年55歳、団塊世代が一斉定年退職を迎える2007年問題に直面し、自分も当事者の立場で、役職定年を迎える会社の仲間と「日経シニア・ワークライフ・フォーラム」を企画実施。この企画をきっかけに先人の様々な定年後の生き方を知り、定年後は「自分のやりたい事で働き続ける」と決める。

2003年、定年後の働き方を探るため、地域の活動を知り地域に関わる働き方を旨し、「大磯町第3次総合基本計画」のワークショップに町民として一般公募で参加。ワークショップ終了後、参加したメンバーに声かけし、有志で「大磯だいすき倶楽部」(略称 ODC) を立ち上げ、まちづくり活動の縁の下のプラットフォームを目指しスタート。

2004年、ODC としての活動の広報手段として町の掲示板に注目し、「景観の中の掲示板マップ」町民活動の実態を探るため「大磯まちづくり活動団体一覧」を作成。高齢者の活動の場を知るため、大磯町福祉保健課と共同で「大磯生きがいマップ」作成に関わる。

2004年、大磯漁協加藤組合長の依頼で、漁協の「魚朝市」のボランティアを開始。
2005年、大磯の海の自然を子供たちに継承する為、「いそっこ海の教室」実行委員会開始。
2006年、湘南国際マラソン支援の為、ボランティアで「大磯応援隊」結成。
2007年、「スポーツ吹き矢大磯支部」立ち上げ。町の介護予防事業として支援。



(魚朝市)



(いそっこ海の教室)



(スポーツ吹き矢)

2008年、高齢者の地域のたまり場として「こみゆにてー・パティオ海鈴」オープン。

「湘南定置網」支援ボランティアを ODC 有志で開始。

2009年、大磯の伝統地曳網と地産地消を体験する「大磯地曳網親子体験教室」開始。

2010年、「大磯市」開始に伴い、実行委員で参加 ODC として出店。



(海鈴健康麻雀教室)



(湘南定置網ボランティア)



(大磯地曳網親子体験教室)

2013年、「大磯だいすき倶楽部」のNPO法人化に伴い、理事長に就任。2018年退任。
この間、(2013年～2017年 計5回)「大磯まちづくりフォーラム」開催。
5回のフォーラムを通して、大磯町の移住促進に関わる課題を理解し、様々な人との出会いにより、「ふるさと回帰支援センター・大磯」設立と、「磯人ネットワーク」構築の足がかりが出来る。

大磯まちづくりフォーラム 開催内容 (役職名は当時の肩書)

2013年、第1回 テーマ:海	
	基調講演: 藤村望洋 早稲田エコステーション研究所 代表研究員 記念講演1: 高橋 公 認定 NPO 法人ふるさと回帰支援センター 代表理事 記念講演2: 阿部裕志 (株)巡の環 代表取締役 パネルディスカッション:「大磯の海を核とした町おこしのこれから」
2014年 第2回 テーマ:観光まちづくり	
	基調講演:安島 博幸(立教大学 観光学部 教授) 記念講演:野瀬暁彦(世界を放浪する旅人) パネルディスカッション:「みんなでつくるまちづくり活動」
2015年 第3回 テーマ:コミュニティ・カフェ	
	基調講演:浅川澄一(公社 長寿社会文化協会 常務理事) 記念講演:竹内弘道(NPO「Dカフェ net」代表理事) パネルディスカッション:「想いが集まる場所のつくりかた」
2016年 第4回テーマ:大磯移住と地域コミュニティ	
	基調講演:濱口晴彦(大磯コミュニティ・カレッジ学長) 記念講演:嵩 和雄(認定 NPO 法人ふるさと回帰支援センター 副事務局長) パネルディスカッション:「大磯移住を支えるよそ者・若者・ばか者」
2017年 第5回テーマ:さあ、大磯で私たちの物語をはじめよう	
	基調講演:筒井一伸(鳥取大学 地域学部 准教授) パネルディスカッション:「私達がつくる 未来の大磯像」

2014年、NPO法人大磯だいすき倶楽部として、(公社)大磯町観光協会理事に就任し、「新たな観光開発部会」を立ち上げ、「シリーズ 新内大磯ゆかりの偉人 計4回」「大磯お茶の間映画館 計2回」を開催。東日本震災支援の為、南三陸福興市支援開始。大磯市(おおいそいち)で出店。



(海鈴健康麻雀教室)



(湘南定置網ボランティア)



(大磯地曳網親子体験教室)



(第2回大磯お茶の間映画館)



(南三陸福興市支援)

2015年、大磯在住早稲田大学名誉教授 濱口晴彦氏の主旨に賛同し、「大磯コミュニティーカレッジ」事務局として協力。「大磯うつわの日」に海鈴で新規出展。

大磯左義長保存支援の為、ODCとして東光院の協力により「左義長木札募金」開始。

2016年、「第4の観光の核づくり委員会」に ODC として参加。

2017年、「大磯左義長インバウンドツアー」開始 大磯港オアシス整備事業推進会議に参加。

明治150年記念事業として「新内吉田茂」「大磯コミュニティーカレッジ・ジョン万次郎」開催。

「大磯港みなとまちづくり協議会」に委員として参加。

大磯宿場祭り実行委員会委員として、「インバウンドツアー」実施。



(大磯左義長支援 木札募金)



(大磯宿場祭りインバウンドツアー)

2019年、「大磯地方再生事業推進コンソーシアム」会員入会。 <https://www.oiso-conso.com/>

2020年、(一社)海鈴大磯設立。「ふるさと回帰支援センター・大磯 設立シンポジウム」開催。

<https://bit.ly/3bTm22B>

ふるさと回帰フェアに オンラインで初参加。 <https://bit.ly/3uIQHbp>

移住支援応援団として、「磯人ネットワーク」構築。 <https://www.iso-jin.com/>

大磯町と(一社)海鈴大磯の間で移住・定住協力協定 締結。 <https://bit.ly/2ZYXPSC>

「自分のやりたい事で働き続ける」と決めてから約 20 年。振り返ると今まで様々な「人の縁」で繋がっている事を実感。これからも人間関係を尊重して生きたいと思っています。